2017학년도 중등학교교사 임용후보자 선정경쟁시험

일 본 어

수험 번호 : (　　)　　**성　명 : (　　)**

제1차 시험	2교시 전공A	14문항 40점	시험 시간 90분

○ 문제지 전체 면수가 맞는지 확인하시오.
○ 모든 문항에는 배점이 표시되어 있습니다.

※ 答えはすべて日本語で書くこと。

1. 2015改定教育課程による[高等学校]日本語教科教育課程(教育部告示第2015-80号)で提示された日本語Ⅰの[会話]についての「成就基準」では、<A>、<B>のような状況を考慮し、<C>の項目が新たに追加された。ⓐ、ⓑに入ることばを漢字または仮名で書きなさい。[2点]

<A>

あかね：先生、お時間ありますか。
先　生：はい、ありますよ。
あかね：相談したいことがあるんです。

<B>

あかね：みどりちゃん、時間ある？
みどり：うん、あるよ。
あかね：相談したいことがあるんだ。

<C>

○ 相手の(　ⓐ　)や(　ⓑ　)などの違いを知り、状況に応じて話す。

2. 次を読み、ⓐに入ることばを漢字または仮名で書きなさい。また、下線部ⓑに提示された方法以外の例を書きなさい。[2点]

　発話者が、文中の情報で最も重視する特定の部分を、他の部分より際立たせて発音することを(　ⓐ　)と呼ぶ。
　例えば、「きのう太郎は船で福岡に行った」という文があるとしよう。「きのう」に(　ⓐ　)が置かれた場合は、発話者が「おとといではなくて、きのう」という時点をとりたてて示していることが伝わり、「船(で)」に置かれた場合は、交通手段が「飛行機や新幹線ではなく、船」ということがわかる。また、「福岡(に)」に置かれた場合は、「東京や大阪ではなく、福岡」という目的地がとりたてられていることを示している。
　(　ⓐ　)の方法としては、その部分だけ、ⓑ高くする、スピードを落とす、発声を変える、または、前後にポーズを入れるなどがある。

3. <A>は、語彙力を問う客観テストの例である。<B>のⓐ、ⓑに入ることばを漢字または仮名で書きなさい。[2点]

<A>

(1) 次は着用に関することばである。それぞれ韓国語に訳しなさい。
はく_____　かける_____　かぶる_____　はめる_____

(2) (　　)に入ることばを書きなさい。
• デパート(　　)ネックレス(　　)買いました。

(3) 下線部と同じ意味のことばを選びなさい。
• 寒いから、手袋をして出かけます。
① 着て　② はいて　③ はめて　④ 巻いて

(4) 左右のことばを意味が通じるように線で結びなさい。

帽子を	•	• はく
めがねを	•	• かける
スカートを	•	• かぶる

<B>

　客観テストは、自分で解答を書き込む再生形式と、用意されたものの中から正答を選ぶ再認形式との二つに分けられる。(1)の翻訳法と(2)の空欄補充法は再生形式の例であり、(3)の多肢選択法と(4)の(　ⓐ　)は再認形式の例である。語の用法の学習は、単純に意味を覚えるだけでなく、文中でともに用いられる他の語や句などとの(　ⓑ　)関係を知ることも重要である。(3)と(4)はその関係を問う問題である。

4. 次は、日本の住宅に関する説明である。ⓐ～ⓔから、間違っている用語を二つ選び、漢字または仮名で正しく書きなさい。[2点]

日本の個人住宅は木造が多い。木造は通風採光がよく、高温多湿な日本の風土に適している。また、材料である木の落ち着いた感触が日本人の好みに合っている。

住宅の内装は、だいたい一定の型がある。一般に和室の天井は木の板であり、壁はⓐ塗壁、床は板を張った上に畳を敷いてある。畳の本体はわらで作ったマットであり、表にⓑいぐさで織ったシートが張ってある。部屋の一角には、床を一段高くし、正面の壁に書画、床板の上に置物・花瓶などを飾るⓒ床の間がある。開口部の下部には、ⓓ鴨居という、溝の刻まれた横木があるが、その上を左右に滑らせることによって建具を開閉する。建具の一つであるⓔ襖は、遮蔽はもちろん、採光も考慮されている。

これらは日本の多湿の風土によく適合しており、長い間の生活の知恵から生まれたものである。

(新日本製鉄株式会社能力開発部、『日本―その姿と心―』より改変)

5. ⓐ、ⓑに入る例を一つずつ漢字または仮名で書きなさい。また、ⓒ、ⓓに該当することばをそれぞれ漢字または仮名で書きなさい。[2点]

日本語の複合語のうち、「N(名詞)＋V(動詞)型」の複合名詞を、その意味から分類すると、次のようになる。

(1) 行為名詞　：草取り、魚釣り、綱引き
(2) 行為者名詞：絵描き、嘘つき、(　ⓐ　)
(3) 道具名詞　：栓抜き、箸置き、(　ⓑ　)
(4) (　ⓒ　)：夜明け、日暮れ、昼下がり
(5) (　ⓓ　)：村はずれ、山沿い、車寄せ
(6) 状態名詞　：二日酔い、すし詰め、水ぶくれ

6. <A>は、初級学習者イムさんと日本人の会話である。このようなケースにどう対応すべきか、最も関連のある仮説を<B>のⓐ～ⓓから一つ選び、それに基づいて書きなさい。[2点]

<A>

村田：イムさん、日本語の勉強はどうですか。
イム：わたし、日本語の勉強をもうやめたいです。
村田：え？どうしてですか。
イム：授業中に日本語で答えます。先生に間違いを直されます。どんどん自信がなくなります。先生の話を聞いても、よくわかりません。日本語の勉強は、最初は楽しかったですが、今は楽しくありません。

<B>

ⓐ 臨界期仮説　　ⓑ 発達相互依存仮説
ⓒ 情意フィルター仮説　　ⓓ サピア・ウォーフの仮説

7. ⓐ～ⓖから不自然なものを二つ選び、正しく直しなさい。[2点]

黒川：はじめまして。桜高校のⓐ黒川と申します。
白　：はじめまして。韓国大学のⓑ白教授です。どうぞよろしくお願いいたします。
黒川：こちらこそよろしくお願いいたします。
白　：ⓒ黒川先生は韓国は初めてですか。
黒川：いいえ。幼い頃、ⓓ父の仕事の関係で韓国に住んだことがあります。
白　：ⓔお父様のお仕事でですか。
黒川：はい。大学の教員をしておりました。
白　：ひょっとして……。あの有名なⓕ黒川一郎教授様ですか。
黒川：はい、ⓖ黒川一郎です。ご存知でしたか。

한국교육과정평가원

8. <A>は文学作品とその説明であり、<B>は文学のジャンルである。<A>の(1)～(4)に該当するジャンルを<B>から一つずつ選びなさい。[2点]

<A>

(1)『雨月物語』は中・短篇の九話の怪談からなり、人間の復讐・愛欲などが迫力ある文章で描かれている。

(2)『日本霊異記』は薬師寺の僧景戒が編纂し、この世に起こる奇異な出来事や仏教の因果応報の教えを説いている。

(3)『水無瀬三吟百韻』は宗祇・肖柏・宗長の名匠三人で詠んだ作品で、発句は後鳥羽院の「見渡せば」の歌を本歌取りしている。

(4)『竹斎』は山城国のやぶ医者竹斎が下僕のにらみの介を伴って、京から江戸へ下る諸国行脚の失敗談を綴った作品である。

<B>

ⓐ 和歌	ⓑ 読本	ⓒ 連歌
ⓓ 説話	ⓔ 浮世草子	ⓕ 仮名草子

9. <A>の下線部について説明しなさい。また、<B>の例を語種によって分類し、(1)～(4)に書きなさい。なお、混種語は「ヒット(外来語)＋曲(漢語)」のように、その構成を書きなさい。[4点]

<A>

語種とは、語をその起源や由来によって分類したもので、日本語では、大きく和語、漢語、外来語、混種語の4種類に分けられる。このうち漢語は、厳密には外来のものであるが、日本語における定着度が高いことから、主に西欧語を起源とする外来語とは別扱いするのが一般的である。また、混種語は、語種の異なる複数の語が組み合わさって出来たものである。

<B>

<例>

試合	美術	親子丼	光通信
気遣う	目新しい	スケート靴	タブレット

(1) 和　語：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) 漢　語：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(3) 外来語：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(4) 混種語：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

10. (1)～(4)のⓐとⓑの違いをそれぞれ説明しなさい。[4点]

(1) ⓐ プレゼンの資料は作ってある。
　　ⓑ プレゼンの資料は作っておく。

(2) ⓐ 家に帰ったら、窓ガラスが割れていた。
　　ⓑ 家に帰ったら、窓ガラスが割られていた。

(3) ⓐ 済州島に行く時、姉が空港まで来てくれた。
　　ⓑ 済州島に行った時、姉が空港まで来てくれた。

(4) ⓐ 新入社員の面接があるから、社長が来るはずだ。
　　ⓑ 新入社員の面接があるから、社長が来るわけだ。

11. ⓐ～ⓕから漢字の読み方が間違っているものを二つ選び、正しく直しなさい。また、下線部ⓖが何を意味するか説明しなさい。[4点]

ミロのヴィーナスを眺めながら、彼女がこんなにもⓐ魅惑的(みわくてき)であるためにはⓑ両腕(りょううで)を失っていなければならなかったのだと、僕は、ふと不思議な思いにとらわれたことがある。つまり、そこには、美術作品の運命という制作者のあずかり知らぬ何ものかも、ⓒ微妙(びみょう)な協力をしているように思われてならなかったのである。

パロス産の大理石でできている彼女は、十九世紀の初めごろ、メロス島でⓓ発掘(ほっくつ)され、フランス人に買い取られて、パリのルーヴル美術館に運ばれたといわれている。その時、彼女はその両腕を自分の美しさのために、無意識的に隠してきたのであった。よりよく時代を超えてゆくために。

僕はここでⓔ逆説(きゃくせつ)を弄しようとしているのではない。これは、僕の実感なのだ。ミロのヴィーナスは、言うまでもなく、高雅と豊満の驚くべき合致を示しているところの、いわば美というものの一つの典型である。しかも、失われた両腕は、あるとらえ難いⓕ神秘的(しんぴてき)な雰囲気、いわば生命の多様な可能性の夢を深々とたたえているのである。つまりそこでは、大理石でできた二本の美しい腕が失われた代わりに、存在すべき無数の美しい腕への暗示という、不思議に心象的な表現が思いがけなくもたらされたのである。

したがって、僕にとっては、ミロのヴィーナスの失われた両腕の復元案というものが、すべて興ざめたもの、滑稽でグロテスクなものに思われてしかたがない。なぜなら、ここで問題となっていることは、表現におけるⓖ量の変化ではなくて、質の変化であるからだ。

(清岡卓行、「ミロのヴィーナス」より改変)

12. <A>の下線部の例を、それぞれ一つずつ漢字または仮名で書きなさい。また、<B>の(1)～(4)に関連のある地域を、<C>のⓐ～ⓗから一つずつ選びなさい。[4点]

<A>

昔の日本には、地方行政区画として五畿七道があった。そのうち、七道には西海道、南海道、山陰道などがある。これらは、日本を大きく区分する際の呼称としても用いられていたものだが、現在は、新幹線名、自動車道名などに使われている。さらに、五畿七道の下には大和、土佐、薩摩、伊豆、出雲などの国が置かれたが、その名を一般に旧国名と呼ぶ。これらも<B>のように、その地域の特産物、施設などに冠して使う場合が多く、現代の言語生活に今でも根強く残っている。

<B>

(1) 土佐犬　　：中型の日本犬で、日本の天然記念物。
(2) 薩摩焼　　：朝鮮の陶工によって創始された焼き物。
(3) 伊豆の踊子：ノーベル賞作家川端康成の代表的作品。
(4) 出雲大社　：日本最古の神社建築様式を誇り、縁結びで有名。

<C>



13. <A>の(1)、(2)は平安時代の物語作品の一部である。同じグループに分類できる作品を<B>から二つずつ選び、各グループの特徴について説明しなさい。[4点]

<A>

(1) 天人の中に、持たせたる箱あり。天の羽衣入れり。またあるは、不死の薬入れり。一人の天人言ふ、「壺なる御薬たてまつれ。穢き所の物きこしめしたれば、御心地悪しからむものぞ。」とて、持て寄りたれば、いささかなめたまひて、少し、形見とて、脱ぎ置く衣に包まむとすれば、在る天人、包ませず。

(2) 昔、男ありけり。東の五条わたりに、いと忍びて行きけり。みそかなる所なれば、門よりもえ入らで、童べの踏みあけたる築地のくづれより通ひけり。人しげくもあらねど、たび重なりければ、あるじ聞きつけて、その通ひ路に夜ごとに人をすゑてまもらせければ、行けども、えあはで帰りけり。さて、よめる、

人知れぬわが通ひ路の関守は宵々ごとにうちも寝ななむとよめりければ、いといたう心やみけり。あるじ許してけり。

<B>

ⓐ 大和物語　　ⓑ 栄花物語　　ⓒ 落窪物語
ⓓ 狭衣物語　　ⓔ 平中物語　　ⓕ 宇津保物語

한국교육과정평가원

14. (1)~(4)を発表年代順に並べなさい。また、(1)、(2)と関連した文学思潮を挙げ、その特徴を説明しなさい。[4点]

(1) 山の手線の電車に跳ね飛ばされてけがをした、その後養生に、一人で但馬の城の崎温泉へ出かけた。背中の傷が脊椎カリエスになれば致命傷になりかねないが、そんなことはあるまいと医者に言われた。二、三年で出なければ後は心配はいらない、とにかく要心は肝心だからと言われて、それで来た。三週間以上——我慢できたら五週間ぐらいいたいものだと考えて来た。

(2)「己はお前をほんたうの美しい女にする為めに、刺青の中へ己の魂をうち込んだのだ、もう今からは日本国中に、お前に優る女は居ない。お前はもう今迄のやうな臆病な心は持つて居ないのだ。男と云ふ男は、皆なお前の肥料になるのだ。……」其の言葉が通じたか、かすかに、糸のやうな呻き声が女の唇にのぼつた。娘は次第々々に知覚を恢復して来た。

(3) 国境の長いトンネルを抜けると雪国であつた。夜の底が白くなつた。信号所に汽車が止まつた。向側の座席から娘が立つて来て、島村の前のガラス窓を落した。雪の冷気が流れこんだ。娘は窓いつぱいに乗り出して、遠くへ叫ぶやうに、「駅長さあん、駅長さあん。」明りをさげてゆつくり雪を踏んで来た男は、襟巻で鼻の上まで包み、耳に帽子の毛皮を垂れてゐた。

(4) 親譲りの無鉄砲で小供の時から損ばかりして居る。小学校に居る時分学校の二階から飛び降りて一週間ほど腰を抜かした事がある。なぜそんな無闇をしたと聞く人があるかも知れぬ。別段深い理由でもない。新築の二階から首を出して居たら、同級生の一人が冗談に、いくら威張っても、そこから飛び降りる事は出来まい。弱虫やーい。と囃したからである。

<수고하셨습니다.>